

粉碎法による超微粒子を用いた固体酸化物形燃料電池用電極に関する研究

小田, 浩之

<https://doi.org/10.15017/1441283>

出版情報：九州大学, 2013, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	小田 浩之
論文名	粉碎法による超微粒子を用いた固体酸化物形燃料電池用電極に関する研究

論文審査の結果の要旨

本論文は、固体酸化物形燃料電池の空気極材料の調製に遊星ビーズミル法による粉碎を適用することにより、空気極材料の超微粒子化が可能であること、得られる電極が均一で微細な構造を有し、電解質への密着性も良好であること、および、その結果として未粉碎の材料から作製した電極に比べて高い性能を発揮することを明らかにしている。これらの成果は、固体電気化学やエネルギーデバイスの研究分野の発展に寄与するところが大きい。よって、博士（工学）の学位に値するものと認める。